

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-3981-4201

附属機関又は 会議体の名称		平成26年度 未来戦略創出会議(第1回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		平成26年4月3日(木) 15時00分～15時45分
開催場所		第二委員会室(本庁舎4階)
議題		(1)社会保障・税番号制度(マイナンバー)への対応について (2)平成26年度「組織目標」及び「主要課題」のヒアリングについて
公開の 可否	会議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	区長・副区長・副区長・教育長・政策経営部長・特命政策担当部長・総務部長・施設 管理部長・区民部長・文化商工部長・清掃環境部長・保健福祉部長(代理出席:自 立促進担当課長)・健康担当部長・池袋保健所長・子ども家庭部長・都市整備部長・ 地域まちづくり担当部長・建築住宅担当部長・土木担当部長・会計管理室長・教育 総務部長・監査委員事務局長・区議会事務局長
	幹事	企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長・広報課長・シティプロモーション推 進室長・総務課長・人事課長
	説明者	情報管理課長
	事務局	企画課企画調整グループ係長

審議経過

(1) 社会保障・税番号制度(マイナンバー)への対応について

幹事: 資料に基づき、社会保障・税番号制度(マイナンバー)への対応について説明。

社会保障・税番号制度は、国民に対し個人を特定する番号を付与することで、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、利便性の高いサービスを実現することを目的としている。平成 25 年 5 月に関連法が制定された。本区ではこれまで、庁内にプロジェクトチームを設けるなど検討体制を組んできたが、年度も改まり取組みのペースアップを図る必要がある。今後、平成 29 年中には本格的な運用が始まり、地方自治体も含めては 29 年 7 月頃から番号制度の活用が始まっていくと想定される。遅れることなく対応していく必要がある。

当面の準備にあたり、まず昨年 12 月に番号法別表第二の事務に係る所管課確認調査を実施したが、再度全庁を対象に確認をお願いする。次に、各所管課に連絡調整等の窓口となる番号制度推進員を創設するので、選任いただきたい。職員を対象とした複数回の庁内研修も実施する予定である。

副区長: 情報システムの面から補足説明はあるか。

説明者: 本区では現在、システムの再構築を行なっている。番号制度もある程度見据えてはいるが漏れがあってはいけないので、今回の調査できちんと把握をしたい。

区長: 新庁舎では情報システムの環境も変わってくると思うが、それとの関係はどうか。

説明者: 新庁舎移転後 1 年から 2 年を掛けて番号制度が動き出すと、これまでの申請を受け付けるというサービスから、対象者に対してもっと積極的なアプローチが可能となる。新庁舎では、マイナンバーを活用した先進的なサービスが実現できればと思っている。

区長: システムが二重になる心配はないか。

説明者: 新システムを入れる中で番号制度に対応できるように進めている。自治体によっては、税と国保、国保と住記といったシステムがバラバラの状態が多額の費用が掛るところもある。そういった意味で、本区では二重の投資を極力避けるかたちで進めていけると考えている。

副区長: 各部局の協力をお願いする。

⇒提案の通り決定する。

(2) 平成 26 年度「組織目標」及び「主要課題」のヒアリングについて

幹事: 資料に基づき、平成 26 年度組織目標及び主要課題のヒアリングについて説明。

例年その年度の各部局の組織目標、主要課題について区長、副区長にヒアリングをお願いしているが、今年度はその実施方法を変更したい。組織目標、主要課題のシートは従来どおり作成、提出いただくがそれを使用した説明は行わず、今回は部長がプレゼンターとなり 30 分を目安にプレゼンテーションを行なっていただきたい。様式は定めていないので各部局で工夫をいただき、それぞれの分野の課題や対応策、上げようとする成果などについて分かりやすく説明いただきたい。全体の実施時間としては、プレゼンテーションと質疑に十分に時間をとるために、従前 40 分であったが今回は 60 分を基本に実施する。

区長: これまで毎年ヒアリングを実施してきたが、今年度はそれぞれの部長が部の課題をどう把握し、どう進めていこうとしているかをプレゼンしてもらおう。それを踏まえて判断し、目標を共有化したい。特にお願いしたいことは区民の目線に立つことである。しっかりとしたプレゼンを実施してもらいたい。

委員: データに基づく情報の処理の仕方、客観的なグラフや表を用いて情報の見える化を図る工夫など、情報の意味をきちっと示すことが重要である。各部局の連携についても、関連するところは相互の組織が十分に分かり合って進めてく必要がある。

副区長: 区の課題など全体像が把握できると期待している。パワーポイントの形にこだわるのではなく、中身を分かりやすく示して欲しい。

委員: 限られた時間の中で、印象深く、いかに大事なことを伝えるかだと思う。

区長: 私と両副区長でそれぞれのプレゼンをしっかりと受け止めるので、今までにない大きなもの、重いものと捉えてもらいたい。

副区長: 新規事業の課題もあるが、継続して取り組んでいる課題も多い。前年で立てた目標がどの程度達成できたのか、何が問題で進まないのかといったことも聞きたい。よろしく願います。

⇒提案の通り決定する。

会議の結果	<p>(1) 社会保障・税番号制度(マイナンバー)への対応について (2) 平成 26 年度「組織目標」及び「主要課題」のヒアリングについて ⇒(1)・(2)について決定</p>
-------	---

提出された資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障・税番号制度(マイナンバー)への対応について ・マイナンバー 社会保障・税番号制度 ・平成 26 年度組織目標・主要課題ヒアリングの実施について(案)
----------	--